

消防団に入つて、変わったことはありますか？

知識を得たことで、普段の生活の中でも気付くことは多いですね。活動前は、消火栓の設置場所や担架にも使えるガードレールなどは、ほとんど目に留まりませんでした。知識を得たことにより、子どもや地域の方にも教えてあげられ、日ごろから意識することで心の準備もできるため、いざという時に役立つと思います。

活動の中で男性、女性の違いを感じることは？

消防団の活動に限らず、男性の考え方と女性の考え方で違う部分はあると思います。だからこそ、男性だけに任せなければ良いとは思いません。女性だからできないと言われたり、男性優先といつた考えは嫌いなんです。でも、女性が何かを始めるとき、すぐに結果が求められてしまうんですよね。一人ではできないことも、みんなに手伝つてもらえば何とかできると思うんです。例えば、町内会でも自分が動けばほかの人もついてきてくれて、それで盛り上がるし、結束力も高まっていると思います。私は昔から参加していると子どもたちも連れていきます。参加し



▲男性団員とともに応急救護訓練

女性消防団員募集！

～地域の安全・安心を守るために 一緒に活動しませんか～

消防団員は、仕事のかたわら「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、地域の防災リーダーとして幅広く防災活動の中心的な役割を担っています。

女性団員は、主に応急救護指導、市民・事業所などへの火災予防普及活動などを行っています。

主な活動内容

- 応急救護指導 応急手当普及員の資格を取得し、市民などへ救命講習の指導を行います。
- 広報活動 年1回消防団だよりの発行などを通じ、火災予防を呼びかけます。
- 行事の参加 防災訓練・水防訓練・出初式など各種行事に参加します。

入団資格

- 羽村市在住の18歳以上の方
- 原則として4年以上消防団活動のできる方

申込み・問合せ 羽村市消防団事務局（防災安全課防災係）☎ 555-1111 (内) 207

原山さんにとっての消防団活動の意義とは？

年齢や性別に関係なく、日常生活では知り合うことがない人と仲間になれ、消防団の活動だけでなく、日ごろからコミュニケーションをとったり、防災に関する知識を得たこと、いざという時に自分が地域の人や誰かの助けになれることがわかったこと、それから一番の意義は、仲間を得たことだと思いま

てみると楽しいし、みんなに行こうよって声をかけています。男性とか女性とか関係なく、みんな参加すればいいのか関係なく、みんな参加すればいいのについて思いますね。

「思っているより大変じゃなくて、やつてみると楽しいよ」ということをたくさん的人に知つてもらいたいし、それを皆さんに知つていただきとも私の使命だと思います。皆さんも私たちと一緒に消防団活動に取り組みましょう！



▲消防団の仲間と

